



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

60-15

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 25 日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県豊田市緑ヶ丘3丁目65番地
住 所 大豊工業株式会社
氏 名 代表取締役社長 新美俊生
(法人にあつては、名称及び代表者氏名)
電話番号 0565-28-9284

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大豊工業株式会社 細谷工場		
事業場の所在地	愛知県豊田市細谷町2丁目47番地		
事業の種類	31. 輸送用機械器具製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	103tt	全処理委託量	103tt
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	103tt
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	11tt
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	4tt
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度	67.75tt
		前年度	102.95tt
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 特になし(すべて電子)			
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物処理状況調査票

(No.)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	大豊工業株式会社 細谷工場	従業員数 (人)	801	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	藤井 俊希	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	製造品出荷額 : 7,254百万円	建設業の場合記入。愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-28-9284	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)					
項目					
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)				
	b 有償物量 (t/年)				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)				
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途				
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先				
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)				
	処理方法				
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑤)				
	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)				
	⑨ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途				
	⑩ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先				
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑩)				
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)				
	⑪ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑪=c+d)				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)				
	埋立処分先				
	f 委託中間処理量 (t/年)				
	処理方法				
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)				
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)				
	再生利用用途				
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)				
	埋立処分先				
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑨+h)					
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)					
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑩+e+i)					

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建築材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

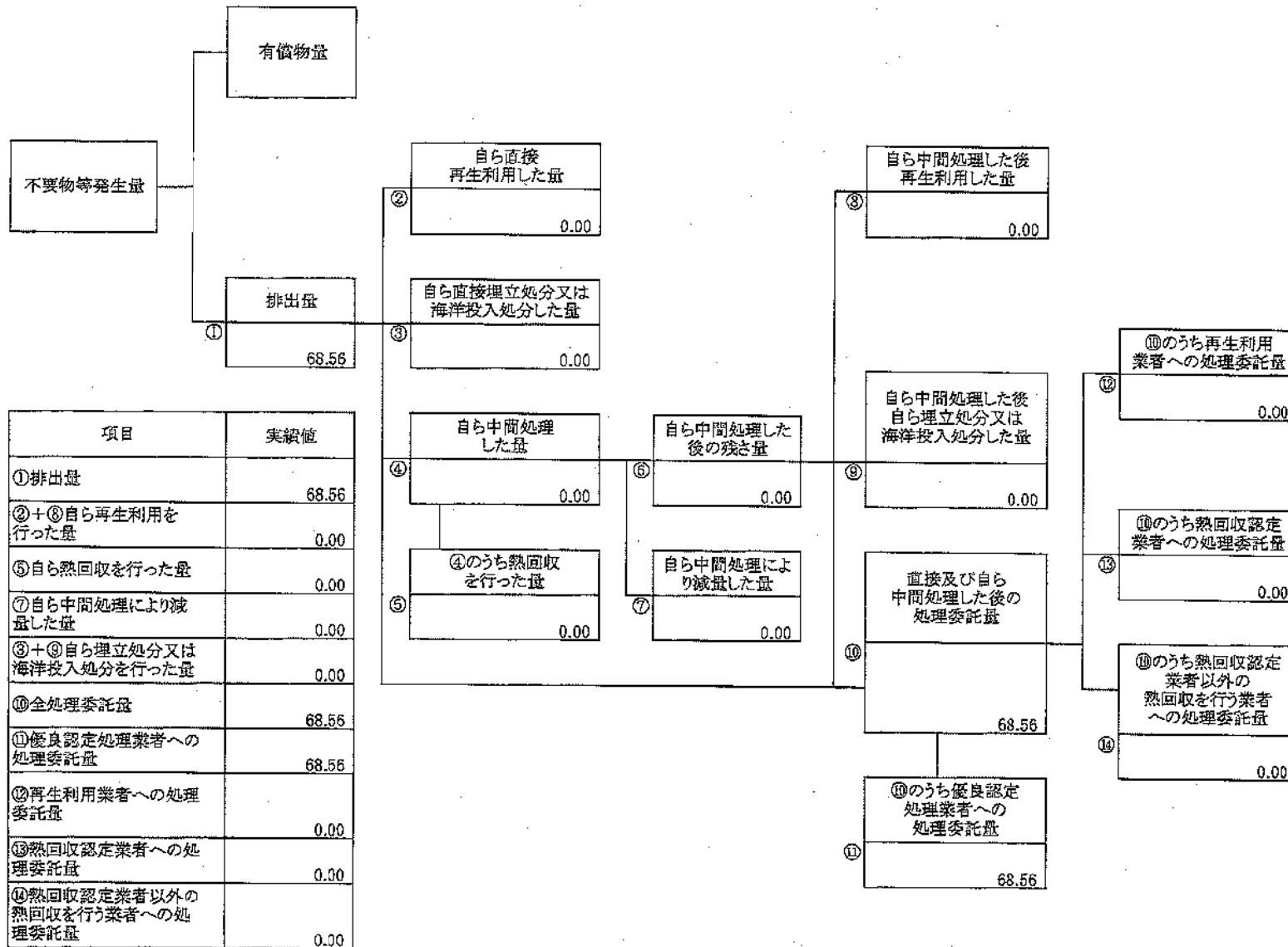
4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

強酸(有害)

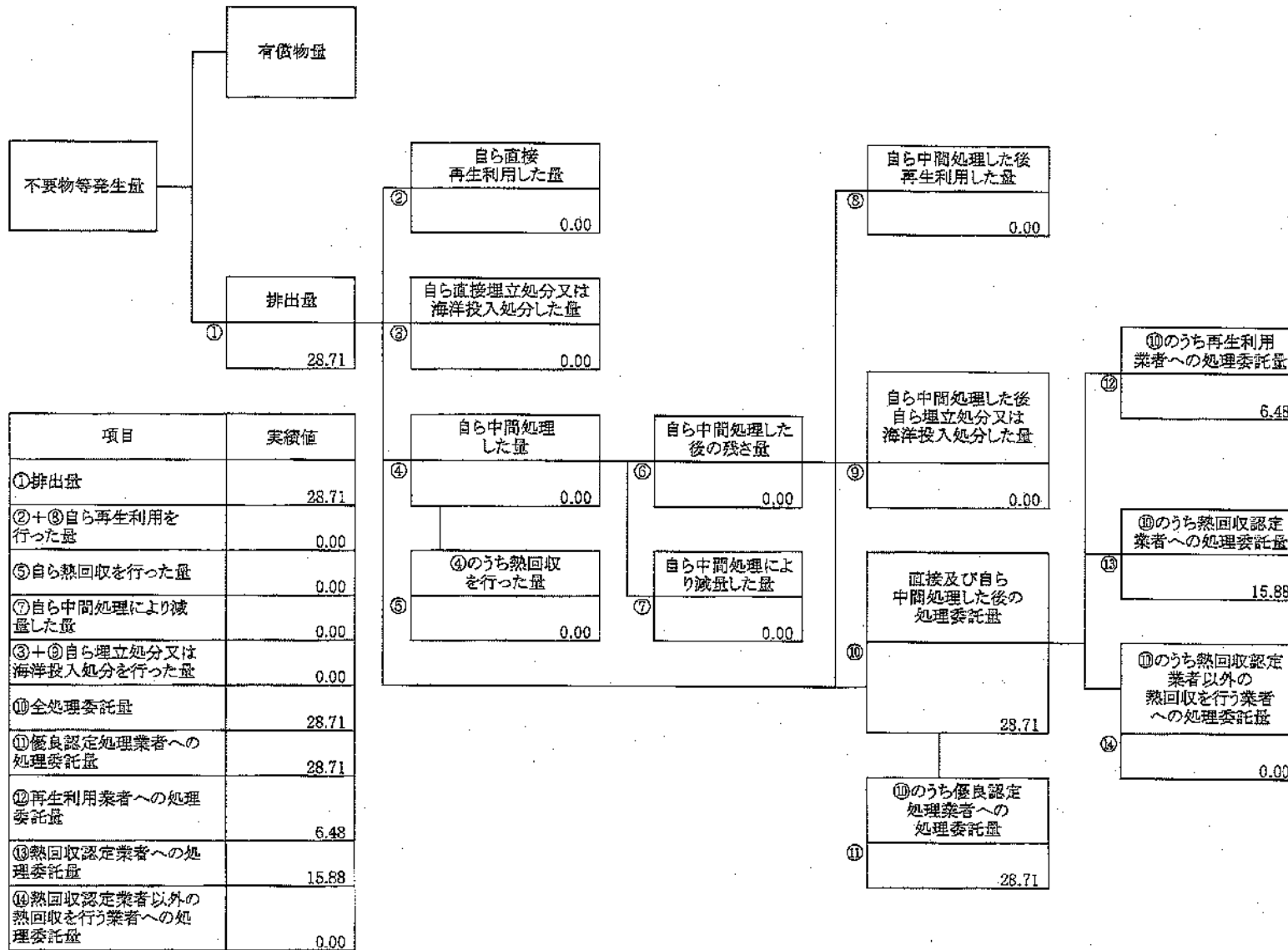


計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

汚泥(有害)

)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

引火性廃油)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

0.75

自ら直接
再生利用した量

②

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理
した量

④

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑤

0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.75

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.75

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.75

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0.00

項目	実績値
①排出量	0.75
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.75
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.75
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.75
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(第2面)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄には、何も記入しないこと。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	(これまでに実施した取組)		
	別紙参照		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙参照		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度令和6年度実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙参照		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	(これまでに実施した取組) 別紙参照		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙参照	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) 別紙参照		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照	別紙参照
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照	別紙参照
	再生利用業者への処理委託量	別紙参照	別紙参照
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙参照	別紙参照
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙参照	別紙参照
	(これまでに実施した取組) 別紙参照		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	全 処 理 委 託 量	別紙参照	別紙参照
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙参照	別紙参照
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙参照	別紙参照
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙参照	別紙参照
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙参照	別紙参照
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙参照		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(令和6年度)実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	別紙参照	
	(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄	別紙参照		

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	細谷工場	従業員数(人)	801	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	技術企画推進部 藤井 俊希	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	-	建設業の場合記入。 委託県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	0565-28-9284	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	7,254百万円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	強酸(有害)	汚泥(有害)	引火性廃油		
		ホウフッ化鉛酸液	フイルム・汚泥等	IPA廃液		
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	68.56	28.71	0.75		
	b 有価物量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	68.56	28.71	0.75		
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑤)	0.00	0.00	0.00		
	⑤ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.00	0.00	0.00		
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	68.56	28.71	0.75		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=a+d)	68.56	28.71	0.75		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	68.56	28.71	0.75		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E () (凝結)	A・B・C・D E () (蒸留)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.00	0.00	0.00		
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.00	6.48	0.75		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	68.56	22.22	0.00		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0.00	6.48	0.75		
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.00	0.00	0.00		
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑤+e+i)	68.56	22.22	0.00		

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。